

富士山麓オリエンテーリング大会 2022

地図印刷エラーに関する報告書

富士山麓オリエンテーリング大会にたくさんのご参加をいただき誠にありがとうございました。

大会当日にお知らせした通り、事前に手配した地図に不備がありましたが再印刷が間に合わず、MCS、MSC75、WSC/AS、WSC75/AS75、ASS の 5 クラスにて縦ハッチ記号の一部が横向きに印刷されている地図を利用して競技を実施いたしました。図式と異なる地図を提供せざる得なかったことを改めてお詫びいたします。

今回の問題に至った経緯と原因、今後の対策を下記の通りまとめましたので皆様にご報告いたします。

今後は同様のことが起きないように万全を期して準備を進めてまいります。次回大会にもぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

2022 年 4 月 29 日

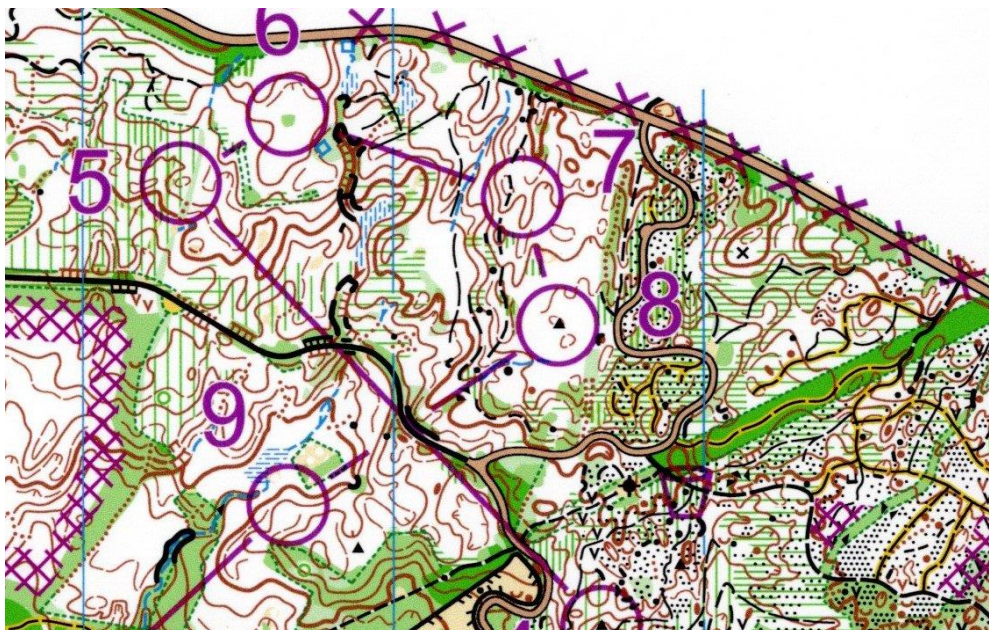
富士山麓オリエンテーリング大会 2022

競技責任者 小泉 成行

記

ミス発覚までの経緯

-
- | | |
|----------|--|
| 4/14 まで | 競技責任者含む 3 名で地図データを確認、問題がないことを確認した。 |
| 4/15 | IOF 認証プリントサービスに入稿した。 |
| 4/21 午前中 | 予定通り納品があった。受け取った競技責任者が検品。コース種別、コース情報、印刷枚数をチェックし問題がないことを確認したが、当該事象には気づけなかった。 |
| 4/22 午後 | コース設置後、運営者 3 名が対象マップを利用して試走したが、この時点でも問題に気づけなかった。 |
| 4/22 夜 | 20 時半ころ、競技責任者が試走で使った地図を整理中に次の 3 つの記号の向きが部分的に違っていることに気づいた。 <ul style="list-style-type: none">・ 310 不明瞭な湿地・ 407 植生（速度低下、見通し良好）通称 B ハッチ・ 409 植生（走行困難、見通し良好）通称 C ハッチ IOF 認証プリントサービスに印刷を依頼したすべての地図に問題があることを把握した。少数のため印刷を IOF 認証プリントサービスに依頼せずインクジェットプリンタで OCAD から直接印刷した地図には問題がないことも確認した。
その旨を IOF 認証プリントサービス担当の羽鳥氏に報告した。返答はすぐであり、入稿データにも問題がないこと、再印刷は間に合わない旨の報告を受けた。
資材（インク、高品位専用紙、ポリ袋）の在庫数を確認し、全地図の刷り直しは難しいことから、セレクトクラス（MS、WS）のみ刷り直してポリ袋に封入、他のクラスはエラーマップで競技を実施することを決定した（21 時すぎ）。セレクトクラスの地図印刷と封入を完了した（23 時半すぎ）。 |



エラーマップ

すべての縦ハッチの向きが変わったわけではなく、場所により向きが異なる状態で印刷されていた。
縮尺、コースの違いに関わらず、すべての地図で同様の状態であった。

原因調査のプロセス

- ・ OCAD ファイルおよび OCAD から出力した入稿用 PDF ファイルに問題はないことを確認した。
- ・ IOF 認証プリントサービス側で後段処理であるイラストレーターPDF 調整処理に問題がないことも確認した。
- ・ 工場の印刷機への刷版設定において通常検版でもエラーは発生していなかったが、印刷機内 RIP (※) 処理で誤った出力が印刷されていることを確認した。※RIP : Raster Image Processor (ラスターイメージプロセッサ)

直接の原因

地図データ PDF (1.4a)に含まれるパターンオブジェクトの一部が、印刷機 RIP 処理のバグで表示が欠けたり、不正な表示となる場合が非常に稀だが起こることがあり、それが今回の地図印刷において発生してしまった。4月26日に印刷機メーカーよりその旨が報告された。

今後の防止策

【IOF 認証プリントサービス】

入稿時調製による回避と工場での検版方法の見直し等防止策を定め、実施する。

【大会主催者】

検品時に記号の向きが正しいことをチェックする。

エラーが発生する可能性も踏まえ、納品日に余裕を持たせる。

主催者で再印刷に対応できるよう印刷資材の在庫数は一定数確保しておく。

以上